

## ものづくりのための統計セミナー

高水準の品質管理が求められる製造業において、データ収集や解析は欠かすことのできない重要な役割を果たします。

本セミナーでは、統計的手法を用いた品質管理についてご紹介し、実務に役立つための手法を実際の活用事例を用いて解説します。

また後半では、SAS Institute Japan株式会社の統計解析ソフトJMP<sup>®</sup>を用いて、代表的な統計手法の一つである実験計画法についてデモンストレーションを交えてご紹介いたします。「統計」と聞くと難しいイメージが先行しがちですが、活用例を交えてご説明しますので、ぜひお気軽にご参加ください。

### 開催概要

#### 【開催日程・場所】

9月8日（金）13:30～16:30（13:00より受付開始）

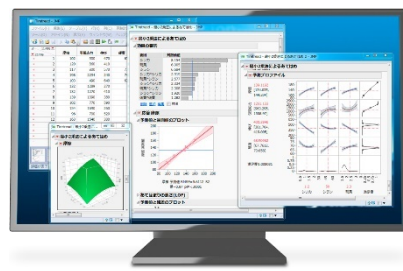
熊本県産業技術センター

#### 【対象】

・製造業で設計、開発、生産技術、工程管理に携わる方

#### 【定員】

80名 参加費無料（事前登録制）



プログラム (予定)	講演タイトル	講演概要
13:30 - 15:00	ものづくりにおけるSQC (Statistical Quality Control) の活用  (途中休憩を挟みます。)	<p>製造業のTQM活動のコア技術として提案された“サイエンスSQC”<sup>※</sup>について、その実証事例を紹介いたします。“サイエンスSQC”は全部門のビジネスプロセスの各段階において、ものづくりの本質を捉え、技術レベルが高まるように構築された新しいSQC活用の方法論です。本発表では、自動車部品製造の技術課題「何を、どうやって造るか」「うまく造れたか」に対して生産技術部門が実践したSQCの活用事例を紹介いたします。</p> <p>講師：葛谷和義（Office SQC 代表） 1944年生まれ。1963年株式会社愛知電機工作所（現愛知電機株式会社）入社。1973年日本電装株式会社（現株式会社デンソー）入社。自動車用電装品製造部門の生産技術を主に担当。2004年退職。現在Office SQC代表として、日本規格協会、中部品質管理協会、さまざま企業などで、ものづくり、品質管理、統計などに関連したセミナーの講師、スピーカーなどを務める。 著書には、おはなし統計的方法―“早わかり”と“理解が深まる18話”（おはなし科学・技術シリーズ）、実験計画法 活用編―技術研究での開発・設計成功事例、などがある。</p>
15:00 - 15:10	休憩	
15:10 - 16:00	技術者のための実験計画入門	<p>実験計画（DOE: Design Of Experiments）とは、因子と応答の関係をモデル化・探索するために、どのように実験を計画し、どのようにデータを分析するか、を扱う統計学の中の一つの分野です。</p> <p>実験計画には、直交表などの計画表を使用する方法以外に、コンピュータの反復計算により計画を作成する最適計画と呼ばれる計画があります。</p> <p>最適計画では、配合因子などさまざまな因子が扱えることや、因子の制約の定義、実験回数の指定が可能などのメリットがあります。</p> <p>この発表では、最適計画の種類や、統計ソフトJMPを用いた計画の立て方、データの分析方法についてデモンストレーションを交え、ご紹介いたします。</p> <p>講師：勝村 裕一（SAS Institute Japan株式会社 JMPジャパン事業部テクニカルグループ システムエンジニア）</p>
16:00 - 16:30	質疑応答	

※日本規格協会名古屋QST研究会編(2000)：サイエンスSQC―ビジネスプロセスの質変革―

セミナー詳細・お申し込みはこちらから <http://www.iri.pref.kumamoto.jp/>

お問い合わせ：熊本県産業技術振興協会 川部

TEL: 096-368-2101 Email: kawabe@kumamoto-iri.jp